

3 Rイニシアティブ高級事務レベル会合の開催について（お知らせ）

2005 年 4 月に東京で開催された 3 Rイニシアティブ閣僚会合（環境大臣主催）のフォローアップとして、2006 年 3 月 6 日（月）～8 日（水）に、3 Rイニシアティブ高級事務レベル会合を東京において開催します。

1. 開催の経緯

小泉総理は、平成 16 年 6 月に米国シーアイランドで開催された G 8 サミット（シーアイランドサミット）において、3 R（廃棄物の発生抑制（リデュース：Reduce）、再使用（リユース：Reuse）、再生利用（リサイクル：Recycle））を通じて循環型社会の構築を目指す「3 Rイニシアティブ」を提案し、合意されました。これを受け、平成 17 年 4 月に 3 Rイニシアティブ閣僚会合が東京で開催され、国際協力の下で、3 Rの世界的な推進のための取組を一層充実・強化していくことが合意されました。

この 3 Rイニシアティブ閣僚会合のフォローアップとして、ハイレベルの政府関係者による会合を開催し、閣僚会合での成果を実施に移します。

2. 開催時期

平成 18 年 3 月 6 日（月）～8 日（水）（プログラム案については、別紙 1 参照）

3. 開催場所

独立行政法人国際協力機構 国際協力総合研修所（別紙 2 参照）

〒162-8433 東京都新宿区市谷本村町 10-5

Tel：(03)3269-2911（代） Fax：(03)3269-2054

4. 招待する国・国際機関

3 Rイニシアティブ閣僚会合出席の 20 か国及び関係国際機関

G 8（カナダ、フランス、ドイツ、イタリア、日本、ロシア、イギリス、アメリカ及び欧州委員会）、ブラジル、中国、インド、インドネシア、マレーシア、フィリピン、韓国、シンガポール、南アフリカ共和国、タイ、ベトナム

ADB、アラブ連盟、バーゼル条約事務局、OECD、UNEP、UNDESA、UNCRD、UNESCAP

5. 使用言語

- （1）総括セッション 2ヶ国語（日本語、英語）
- （2）分科会セッション 英語

6. 主な議題

(1) 各国における 3 R の推進

各国・国際機関の 3 R に関する取組事例を共有し、途上国での 3 R 推進に関する支援や、関係者間の協力のあり方などについて議論

(2) 国際的な 3 R の推進

循環資源や再生産品の国際的な移動と環境保全の確保、そのための各国間及び関係者間の協力のあり方などについて議論

7. 会合への参加

事前登録により、総括セッション（第 1 日目及び 3 日目）及び第 1 日目のランチセミナーは傍聴が可能とし、その他については非公開とします。事前登録方法については、下記 URL を参照下さい。

http://www.env.go.jp/recycle/info/3r_som/boshu.html